

OTAKE



ホームページ・Facebook・Instagram

未来を拓く 大竹JC

検索

2021. 6 vol.26

新入会員セミナー i n 三倉岳

ようこそ大竹青年会議所へ



写真撮影時のみマスクを外しております

CONTENTS

- P 1委員会紹介「トランジション委員会」
- P 2委員会紹介「ふるさとスマイル委員会」・新入会員に聞いた大竹青年会議所
- P 3湯崎知事と「ひろしまの未来を語る」 i n 大竹
- P 4全体事業「新型コロナウイルスワクチン～高齢者のWEB予約をサポートしよう～」
- P 5気仙沼市訪問記・出張報告
- P 62021年度例会報告
- P 7What is 青年会議所・お知らせ

まちを牽引するリーダーになるべく**人財の育成を担う部門**です。リーダーに必要な要素とは何かを深く考察し、リーダーとしての知識や手法といった個人のスキルアップだけではなく、組織力の向上やコミュニケーション能力の向上といった、相手を想う心を育む事業を展開しています。

2021年度 新入会員セミナーの長い一日

登山中に**青年会議所クイズ**!!

21:17
居酒屋の青春

13:55
体力系セミナー(登山)

登頂成功♪
そして、**記念写真☆**

17:55
あなたがカメラマン

19:30
5分間スピーチ

22:00

Cut!

10:45
猛呼訓練

2人とも、
よく頑張りました!

11:53
昼食

みんなで
ランチタイム

Action!

08:30
セレモニー

08:45
座学① (VMV:川原トレーナー)

09:45
座学②
明るい豊かな社会
を**絵**にしてみよう
(第48代理事長 谷岡正和先輩)

新入会員セミナーとは

青年会議所について、またどのような活動を行っているのかを知っていただくため「**JC(青年会議所)基礎講座**」を学びます。また、歴代理事長をお招きし、ご経験を交えながら活動をイメージしやすくするための講義をしていただきます。そして、体力面で苦しい中で頭を巡らせ、メンバーが一丸となり協力しながら、チームワークを育むことを目的とした「**体力系セミナー**」を行います。

終わりに「**居酒屋の青春**」と題して、新入会員が主となり初めて企画・立案する事業を行います。事業を企画することでJC活動に必要な能力を育みます。また、共に歩いていく同期生との信頼を深め、既存会員と親睦を図ることで一丸となってJC活動を行うことができるようになります。



5月号



3月号

5月は森田進也副委員長が山田昭男さんの著書「山田昭男の仕事も人生も面白くなる働き方バイブル」を紹介しました。皆様もぜひご覧ください。

初回である3月、前田利祥委員長が紹介した本は、原田マハさんの著書「本日は、お日柄もよく」でした。

トランジション委員会では、例会とは違う形で、会員が最終目標を見据えて学ぶ際に、モチベーションを保つための一助となる書籍などをご紹介できればと考え、委員会通信を企画し、全6回メル配信を予定しています。

委員会通信

ふるさとスマイル委員会(社会開発部門)

まちの活性化のために様々な事業を企画立案、実行する部門です。今まちに必要なことを深く考察し、市民の方と共にふるさとの明るい未来を創造します。また、子どもたちに大竹の歴史や文化に触れてもらう機会を提供し、まちの未来を担う青少年の心を育む事業も行っています。

10月対外事業「おおたけスマイル文化祭」～経過報告～

ふるさとスマイル委員会では、10月対外事業「おおたけスマイル文化祭」の実現に向け、2月9日に大竹市教育委員会に訪問し、大竹市からも後援を頂くこととなりました。

2月16日には、対外協力者の方々と最初の企画会議を行いました。そして3月7日には、当委員会の担当例会がありました。講師に大竹青年会議所の先輩、小城和之様をお招きし、子ども達にふるさとへの愛着を持ってもらえる事の重要性について、ご講演頂きました。

今後もふるさとおおたけに、沢山の笑顔を灯せる様に頑張ります。



←3月例会でのひとコマ

→大竹市から後援を頂くため、教育委員会に訪問しました



↑企画会議の風景

新入会員に聞いた大竹青年会議所

写真左より、今年度入会の藤本崇晃委員と前田研一委員

①新入会セミナーの感想を教えてください

→トラブルもありましたが、それでもやり遂げることができて自信がつきました。また、改めて、青年会議所の凄さを実感しました。

②青年会議所に入会してみてどのように感じましたか？

→想像していたより忙しい会だなと思いましたが、想像していた以上に魅力的な会でした。

③大竹青年会議所の良いところはどこですか？

→なんにでも全力なところ。メンバー同士の仲が良いところも魅力の一つです。

新入会員紹介 2021年2月 入会

前田 研一(40歳) 昭和56年3月14日生
(税理士法人 前田会計事務所)



もっと早くに青年会議所に入会しておけばよかったなと後悔はありますが、済んでしまったことはしかたありません。残りの期間、積極的に、楽しんで活動に関わることで、少しでも大竹に住んでいる皆さまのお役にたてることができればと考えています。そして、その活動が自身の成長にも繋がるよう、意識して活動していこうと思います。

④入会を考えている方へメッセージ

→入会して体験してみないと、会の魅力は伝わりません。色々と考えずに、まずは飛び込んでみるのが大事だと思います。

→時間は確かに取られるようになりますが、その分多くの学びがあります。

大竹青年会議所会員が参加しました

意見交換会
Vol.5
in 大竹

安心・誇り・挑戦ひろしまビジョン

湯崎知事と

ひろしまの

未来を語ろう

参加者募集

湯崎知事が県内各市町村訪問。10年後の目標とする未来に向けた方向性を示した「安心・誇り・挑戦 ひろしまビジョン」をテーマに意見交換会を開催します。この機会にあるも湯崎知事、入山市長とともに広島県や地域の実情について語り、また自分たちの思いや考え、新たな思い、憧れなどの未来を語り合ってください。

開催日時 3月4日9日(金) 19:00～19:30

開催場所 大竹市館(アピアおたけ) 2階大会室
大竹市本町1丁目9-3



内 容

●知事が語るひろしまのビジョン ●ひろしまの未来を知事や市長と語り合う

一般参加者大募集！

※申し込み締切 3月3日 午後2時(水)

広島県や地域の未来について語り合う 5名程度

大竹市に在住の方。大竹市の商業界や市民界に活動し、通関について広島県や大竹市の未来を語りたい方はぜひ参加してください。



大竹市長 入山 誠



意見交換会(1)の様子



意見交換会(2)の様子



生中継

生中継・生中継・生中継

生中継・生中継・生中継

ホームページはこちら▶

ひろしまビジョン意見交換会

生中継

お問い合わせ先

大竹市企画課 経済企画チーム

TEL 082 513 2344 FAX 082 212 4025 EMAIL sokenkei@citydn.jp

お問い合わせ先

大竹市企画課 経済企画チーム

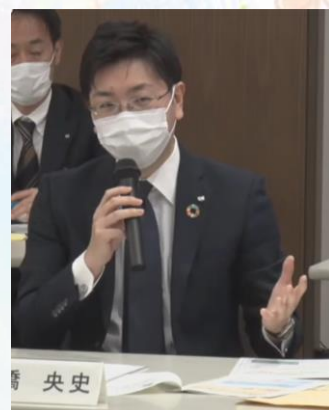
お問い合わせ先

大竹市企画課 経済企画チーム

TEL 082 513 2344 FAX 082 212 4025 EMAIL sokenkei@citydn.jp

お問い合わせ先

大竹市企画課 経済企画チーム



広島県の教育が目指す10年後の姿に「これからの社会で求められ

4月9日（金）に、広島県主催のひろしまビジョン意見交換会として「湯崎知事とひろしまの未来を語るin大分」が大竹会館（アゼリア大竹2階集会室）にて開催されました。

大竹市を代表して、市民6名が参加し湯崎英彦知事と意見交換をしました。参加者6名のうち、会員からは高橋中央理事長をはじめ4名が応募し、市民の皆様と同様に一般参加者として意見交換する機会を得ることができました。次の文書は、参加した高橋中央理事長が当日提案した内容になります。他にも、3名の会員が一般参加者として参加しています。詳しい内容につきましては、「湯崎知事とひろしまの未来を語るin大竹」で検索し、当日の動画をご覧ください。

「高橋史理事長が考える
ひろしまの未来」

この度のテーマであります、広島県が掲げる「安心・誇り・挑戦 ひろしまビジョン」の中から私が取り上げたテーマは**教育**でした。

る普遍的で汎用性の高い知識・スキルを学び、身に付ける」とありますが、私はそのスキルの一つが「自ら物事を企画し、実行する力、新規事業立案能力」であると思っています。これから人口減少、超少子高齢社会を迎えるにあたり、様々な社会問題がより顕著に表れてくる時代に入ってきました。今まさに、既成概念にとられない、柔軟な発想をもった事業を展開するイノベーターの存在が求められています。今、教育現場においてその人材育成が急務だと思っています。学校卒業後の進路である「進学」「就職」に加えて「起業」や経営者として事業を引き継ぐ「事業継承」といった選択をとる子どもが広島に多く生まれるような教育が普及すれば、面白い10年後が待っているのではないのでしょうか。アメリカのシリコンバレー、中国の深圳には時代の最先端を行く企業が集まっていますが、日本版シリコンバレーといえは広島、と言われるくらいのインパクトが必要です。是非広島、とりわけ大竹

という地で起業をする青年が増え、そこから世界的な経営者が育つ環境づくりを今から始めたら面白いのではと考えています。

また、ひろしまビジョン、教育が目指す姿の実現に向けた取り組みの方向にはキャリア教育・職業教育の推進「子どもたちの将来的な社会的・職業的自立に向けて各学校段階を通じた体系的・系統的なキャリア教育や、地域や産業界と連携した職業教育の充実に取り組む」とあります。まさにこれが実現できれば、子どもたちの進路に、「起業や事業継承」という選択肢が増えると思っています。

そこでこの取り組みを、具体的に考えてみました。「地域や産業界と連携した職業訓練」という言葉にぴったり
の団体があります。それが、私の所属
しております大竹青年会議所です。青
年会議所には、先代から事業を継承し
た方や、一代で起業した方など、20歳
から40歳までの幅広い青年経済人が揃
っています。そういった方が、学校教
育の中で、自らの体験や、経営学、さ
らに起業を疑似体験できる実学を通し
て子どもたちと関わることで、ひろし
まビジョンにある「これからの社会で
求められる普遍的で汎用性の高い知
識・スキルを学び、身に付ける」こと
ができ、将来「起業したい」「親の家
業を継ぎたい」といった子どもたちが
多く生まれることが期待できます。そ
の将来的な効果として、活躍する企業



写真撮影時のみマスクを外しております

写真左より
中野友博、高橋央史、湯崎英彦知事、河野大輔、河内信治

「この度このような発言の機会を設けていただき、大変貴重な経験を得ることが出来ました。誠にありがとうございました。」

の増加から税収がアップ、また、昨今話題になっていいる企業の後継者不足の解消、そして、青年会議所会員の増加から経営者同士によるイノベーションなど、幅広い派生効果も期待できます。今回は起業に挑戦する者が多く増え、また挑戦しやすい社会の実現への土台として、まず教育に焦点を当ててみました。わがまち大竹市では、市内の商業活性化を図るため、商業者が連携したグループが提案し、実施する事業に対して市が助成金を交付する事業「大竹市商業者チャレンジ事業」があります。私の事務所もこの助成金を利用して、青年会議所の仲間にも協力いただき、「こども起業塾」なるものを1年間させていただきました。

若者の意識の変革から、企業の道を選択する者が増え、将来幅広く事業が展開されることで、広島ビジョンの実現に繋がると思います。

「新型コロナウイルスワクチン～高齢者のWEB予約をサポートしよう～」

新型コロナウイルス感染症のワクチン接種が大竹市でも始まりました。

全国ニュースにもあるように、ワクチン数の少なさ、少ない電話回線に殺到する高齢者、苦手意識のあるインターネットによる予約など、全国の自治体でも起こっている問題が大竹市でも起きています。

また、新型コロナウイルス感染者の増加に伴い、大竹市役所にも問い合わせが殺到しており業務が逼迫してまいりました。この状況を我々は街の問題と捉え、行政対応の緩和と高齢者の皆様の不安解決のお手伝いが出来ればと思います、大竹市役所に企画書を持っていきま

した。
アイディアと行動で示すことが、我々青年会議所のできることで考え、今こそ地域に住まう青年として、また青年会議所会員として、これまで培ったノウハウとコネクションを活用し、この問題に取り組みべく、この度企画し実施いたしました。

また、本事業の目的を、

「大竹市在住の高齢者に対して本課題の不安解消や疑問解決を目的とする」

とし、皆様のお手伝いが出来るよう会員一丸となり企画実施いたしました。



新型コロナウイルスワクチン 高齢者WEB予約をサポートします！

※集団接種（広島西医療センター）のみの予約となっております。個別接種は対象外です。

■日 時 **6月14日(月) 8:30~12:00**

■場 所 **アゼリアおおたけ（大竹警察署前）**

〒739-0613 広島県大竹市本町1丁目9-3

※お車でのご来場も可能ですが、駐車場に限りがございます。

■持参物 **接種券(必ず必要です)** →

※ご参加頂く際には、新型コロナウイルス感染症予防の為、事前検温とマスクのご着用をお願い致します。

■料 金 **無 料**

ワクチン予約数が埋まり次第終了とさせていただきますので予めご了承ください。ワクチン接種券

お問合せ電話窓口回線が**1本しか**ございません

大竹青年会議所がサポートするWEB予約に関しては、お問合せ電話窓口回線が1本しかございません。限られた人数で対応しておりますので、何卒、ご理解ご協力のほど宜しくお願い致します。

担当：一般社団法人大竹青年会議所 中野 友博（携帯電話：090-9414-6529）

JCI 主催：一般社団法人大竹青年会議所 協力：大竹市



①チラシを各自治体ごとに振り分けている写真 ②協力依頼に行く前に一枚
③リハーサルの様子 ④前日に資料等の準備 ⑤当日の様子 ⑥当日の様子

中野副理事長をはじめとして、連携のとれた対応ができたことで、大きなトラブルなく終わることができました。

今後このような形で地域に根差した若者らしい活動を青年会議所で継続していければと思っております。



末廣 天佑 君

当日は予想以上の来場者に驚きましたが、ウェブ予約サポート事業が滞りなく終わりホッとしています。担当させていただいた高齢者の方からも「このような機会を設けていただいてありがとうございます」という言葉も直接いただき、この事業に参加できたことを嬉しく思いました。



岩崎 静穂 君

この度の事業開催に多大なるご協力をいただき誠にありがとうございました。多くの感謝の言葉をいただき、地域の皆さまのお役に立つことが出来たのではないかと嬉しく思っております。

地域の若者が地域の安心安全を守るサポートをする。本来であれば隣人同士そんな助け合いの交流があることが理想だと考えます。

そのような意識を我々と同年代の方々に持っていただくこと、そして何より安心して頼りにしてもらえ、そんな存在になれるよう今後も活動に取り組んでまいります。

～気仙沼市訪問記～



4月17日、当会の中野友博を講師としてお招きいただきました気仙沼青年会議所様の例会に参加してきました。現地では昨今の状況を鑑みたうえで、廣野一誠理事長をはじめ、会員の皆様から最大限の温かいおもてなしをいただきましたこと、改めて感謝申し上げます。

よく、青年会議所に入ると人脈が広がると言われる。私は人脈を広げることとは、自らの可能性を広げること、ひいては夢を広げることだと思っています。人はその人生を置かれる環境によって大きく左右されます。20代、30代という貴重な時間の多くを青年会議所活動に充てている私たちは、自らの選択で人生を変える場に身を置いています。

しかし、ただ青年会議所に所属しているだけでは、人生が変わったとしても、可能性を広げることではできません。可能性を広げるためには、自ら学び、想いを言葉にのせ、実行していかなく

ればなりません。そうした中でパーソナルブランディングを発信し続けた中野がこのような機会をいただいたこと、本当にうれしく思っています。

翌日には気仙沼市東日本大震災遺構・伝承館を案内していただきました。私自身、この度の訪問が震災の状況を直接目にするはじめての機会となりました。

震災から10年、津波によって車が三階の教室まで運ばれた校舎は、当時のまま残されていました。そこから見える平地、海や青空を見て感じた思いは言葉にはできません。被災された会員から当時の話を聞きましたが、返す言葉にたどり着くことができませんでした。

昨今、混沌とする社会情勢を反映してか、人種の違いから起こる問題や、特定の国に対する過激な意見、他者を思いやることができない発言を目にす



ることが多くなった気がします。そのような多様性を認めることができない独善的な空気が広まれば、対立が生まれ、争いが起こることは想像に難くありません。災害と争いごとは異なりませんが、招く結果は同じです。むしろ原因が人に起因する後者の方が悲劇的といえます。今一度他者に心を寄せ、一人一人が明るい豊かな社会とは何かを考える必要があると感じています。

気仙沼についたときには桜がきれいに咲いていましたが、大竹の桜はもう散っておりまして。確かに物理的な距離はありますが、この出会いを通して心理的な距離は近くなったと感じています。この機会が、気仙沼青年会議所様と大竹青年会議所の更なる発展、また、先行き不透明な時代であっても現役会員が改めて他者を思いやることの大切さを考えるきっかけの一つとなれば幸いです。

一般社団法人大竹青年会議所

54代理事長 高橋 央史

「例会講師として気仙沼へ」

一般社団法人気仙沼青年会議所様よりご依頼を頂き、「情報発信力」をテーマに、昨年度パーソナルブランディング向上委員会委員長のとして行ってきた実例を交え、例会講師として、講演してまいりました。

何を伝えることができるのか、何を伝えるべきかを問い続けた5ヶ月でしたが、1年間走り切った熱い想いと、大竹青年会議所の仲間達の素晴らしいさを伝え切ることになりました。

可能性を信じ、挑戦することが出来るのも、信頼できる仲間達がいるからこそだと改めて強く実感しました。これからも大竹青年会議所の一員として、自信を持って活動してまいります。

社会開発部門

副理事長 中野 友博



2021年度例会報告

1月

「新年例会 本年度の活動方針や想いを共有し、足並みを揃える」

担当：戦略総務推進委員会

写真撮影時のみマスクを外しております
2021年度 理事役員メンバー

1月7日(木)大竹商工会議所4階大ホールにて新年例会が開催されました。

新型コロナウイルス感染症の影響により、本年度は先輩方をお招きすることは出来ませんでしたが、これまで諸先輩方が紡いでこられた歴史と伝統を受け継ぎ発展させていくため、しっかり準備と対策をして挑みました。1年間の活動の方針を共有し会員皆が心をひとつに、足並みを揃えることの出来た、最高のスタートとなりました。

2月

「信頼を共に築けるリーダー像を意識することの重要性を学ぶ」

担当：トランジション委員会

新型コロナウイルス感染症への対応として、会場を3つに分けしっかり準備と対策をして挑んだこの度の例会は、学校法人桐蔭学園理事長 溝上 慎一氏 を講師としてお招きし、例会担当のトランジション委員会が掲げる「信頼を共に築けるリーダー」という目標に近づくために、トランジションという状態を理解し、リーダー像を意識していただくことを目的に例会を開催いたしました。



Zoom開催での例会

3月

「ふるさとへの愛着を持つ事の重要性を意識する」

担当：ふるさとスマイル委員会



手作り神輿と理事長大号令

小城和之先輩と中野友博君

第51代理事長を務められた 小城 和之先輩 を講師としてお招きし、愛着と繋がりにより笑顔が溢れるまちにしていいため、ふるさとに愛着を持つことの大切さをご講演頂きました。

また、10月対外事業に向けて意気込みを大竹和紙に書き込み、10月対外事業で使用する予定の神輿に貼り付けました。理事長大号令のもと、10月対外事業に向けて心をひとつに、「一致団結」することができました。

4月

「会員同士の見識を深め、組織全体の継続的パフォーマンスの向上を図る」

担当：三役会、広島ブロック会長公式訪問例会

広島ブロック役員団の皆さまをお迎えし開催された本例会は、大竹青年会議所がレベルアップするためにはどのような事業を行えば良いか、事前に大竹青年会議所メンバーを4チームに分け、アイデアソンという手法を用いて考えたものを発表・決選投票する場でした。投票の結果、優勝した末廣委員の案が8月例会議案挑戦権を獲得しました。

挑戦権を獲得した末廣天佑君



広島ブロック 加度亮平会長

5月

「多様性を理解することについての重要性を認識する」

担当：三役会



会員はアイマスクを使用し障がい者スポーツを体験

多様性社会とは、あらゆる違いを認め合い、その違いを利点として活かしていく共生社会の第一歩です。【誰一人取り残さない社会】を地方自治体単位で実践していくためにも、まずは知る・考える・共有する機会が必要と考え、前半を講演で知識を落とし込み、後半にボッチャやゴールボールを通じて体験しました。

What is 青年会議所

青年会議所（Junior Chamber）は“明るい豊かな社会”の実現を同じ理想とし、地域のために地域との協働により社会の発展に貢献する団体です。

当会には、次代の担い手たる責任感をもった20歳から40歳まで青年が所属しています。

青年会議所活動の3つの信条は、

修練

修練を行なうこと・若者が集まって自己啓発を行うこと

奉仕

培った力を地域社会への貢献に用いること

友情

会員同士の人のつながりを構築すること

青年会議所はまちづくりを通じて、自己の成長へ繋げることのできる団体です。是非一緒に活動してみませんか。皆さまの入会をお待ちしております！

所属する会員が、この修練・奉仕・友情のもと、日々まちづくりのできる人づくり運動をすすめています。

大竹青年会議所会員になるためには

→大竹市及び近隣に居住または勤務している20～40歳までの青年男女であれば、職業・企業の規模・宗教・政治的な考え方の区別なく、個人の自由な意思によって入会する事が出来ます。

戦略総務推進委員会（総務広報部門）から美化活動のお知らせ

毎月第三日曜日 ※午前10時～11時までの1時間程度

昨年より続く新型コロナウイルス感染症拡大に伴い活動が制限される中で、何か地域に貢献出来ないかと考え、コロナ禍でも出来る新たな取り組みとして、まちの美化活動に取り組んでいます。会員や会員のご家族、また協力してくれる有志の方々と力を合わせて活動しています。ご興味ございましたら、ぜひお問い合わせの上、ご参加ください。



～編集後記～

広報誌6月号では、会員がどのような考えを持ち日々活動しているかを伝えたいと思い構成いたしました。大竹青年会議所の活動は今年で53年目です。私たちは、これまで諸先輩方から受け継いだ想いを紡ぎながら活動しています。当会の活動は日々の積み重ねです。ふるさとを思い、より良くなるためにはどうすれば良いかを皆で考え行動しています。この広報誌を見ていただき、少しでも大竹青年会議所に興味を持っていただければ幸いです。

一般社団法人大竹青年会議所 戦略総務推進委員会 委員長 栗本尚明